

会議では、当事者発表、ワークショップ等の実施により、アジア各国の本人活動のきっかけ作りを行い、本人活動を啓発していることなどの紹介がありました。また、韓国のKAIDD(韓国知的発達障害者福祉協会)との交流事業を全日本育成会から継承し、一年ごとに全国連合会の全国大会への招待と、韓国での全国大会に訪問するなどして、交流を図っていると報告がありました。

次に権利擁護センターの報告は、兵庫県育成会の松井美弥子さんよりありました。初めに基本的なスタンスとして、権利主張だけではなく、「親としてすべきことは？」として、そのうえで情報発信を心がけてきたと話されました。権利擁護センターの運営委員会の活動として、権利擁護セミナーの開催と報告、運営委員会の開催状況の報告、『権利擁護活動に関する調査』、虐待事案についての情報収集などについて報告があります。ただし、今後、兵庫県育成会として、権利擁護センターの活動継続が難しい状況とのことで、他の地域の育成会組織に事業を移す方向で調整をしているという報告もありました。

最後の本人活動支援委員会の報告は、大阪育成会の左古久代さんからありました。現在の本人活動は、1990年代と比べて、やや低調気味で、物足りない思いを持っている本人の会のメンバーがいること等の紹介がありました。そのような状況ではありますが、ご本人に対する意思決定支援の方法としての、わかりやすい版パンフレットの作成についての話しは、とても参考になりました。

特別観桜会にご招待いただきました

生活介護 西作業所 支援員 岸本 昭人

毎年桜の開花時期にあわせ、1週間限定で一般開放される「桜の通り抜け」。

今年度も造幣局様と大阪市様のご厚意で一般公開よりも一足早い4月10日に「特別観桜会」として、ご招待をいただき参加させていただきました。

造幣局の構内約560mにわたり、約130種、約350本の桜が咲き、時折吹く風に桜の花びらが舞い散り、美しさに感動を隠せず、参加した利用者からは歓声が飛び交っていました。

今年の桜に選ばれたのは八重桜の「大提灯(おおちょうちん)」で、大輪の花が見事に咲き誇っており、参加した利用者からも「来てよかった!」「見れて良かった」など、とても喜んでいる様子でした。

今年は開花が早く、ほとんど葉桜になっている木々もありましたが、利用者も楽しみにしていたイベントで、参加した方からも色々な感想があり、談笑しながら綺麗に咲いた桜をゆっくり観賞できました。

最後になりましたが、ご招待いただきました造幣局様ならびに大阪市様、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



活動報告(4月16日から5月15日まで)

活動日	内容
4/20	第22回 近畿手をつなぐ育成会連絡協議会リーダー養成研修会(大阪育成会)
4/25	大阪市社会福祉協議会 評議員会
5/10	第36回スポーツフェスタ2017大阪理事会
5/13	第18回大阪市障がい者スポーツ大会 ボウリング競技(弁天町グランドボウル)
	第18回大阪府障がい者スポーツ大会 陸上競技・フライングディスク競技(万博記念競技場)

大阪市育成会会員日より

《レクリエーション(本人活動支援)について》

ボウリング教室

6月は休会です。

《会員向け学習会のお知らせ》

- ・日 時：6月19日(火) 13:00~14:30
- ・場 所：社会福祉センター 301会議室
- ・テーマ：『「未来あんしんさぽーと」について』
- ・講 師：株式会社 ジェイアイシー
担当：御子柴氏、小宮山氏